

# 都市計画マスタープラン改定計画（案）および立地適正化計画（案）に関する 市民説明会の結果（概要）

## 1 実施概要

地区	日時	会場	参加者人数
太田	2019年12月19日（木）19時～	生涯学習センター	18人
古井	2019年12月10日（火）19時～	上古井交流センター	30人
山之上	2019年12月11日（水）19時～	山之上交流センター	7人
蜂屋	2019年12月12日（木）19時～	蜂屋交流センター	19人
加茂野	2019年12月13日（金）19時～	加茂野交流センター	18人
伊深	2019年12月16日（月）19時～	伊深交流センター	7人
三和	2019年12月17日（火）19時～	三和交流センター	15人
下米田	2019年12月18日（水）19時～	下米田交流センター	14人
合計			128人



## 2 各地区の主な質問と回答

地区	質問	回答	その他意見 (要望事項や都市MP・立適以外の意見など)
太田	・中山道沿いに空家が増えてきている。市として空家対策にどのように取り組むつもりか。	・老朽空家の取壊し費用の補助や空家バンクの取組を進めている。中山道地区においても老朽空家の取壊しにより、地域の集いの場をつくるということも考えていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「太田宿 渡しの広場」は誰も利用していない。ベンチが設置されているだけで税金の無駄ではないか。</li> <li>・昔は美濃太田駅周辺にはもっと飲み屋があったが、今は少なくなり寂しい。もっと昼夜ともに活気があるまちになって欲しい。</li> <li>・飲食店等の減少については後継者問題もある。農業も同じ。例えば、やりたい人を公募するといったマッチングを検討してみてもどうか。</li> <li>・ヨーロッパでは10万や20万人の都市でも中心部はシャンとしている。太田もマンションや再開発ができれば良い。中心市街地が寂れてはダメ。木沢病院が出ていくので市役所は駅南にないとダメだと思う。</li> </ul>
	・住みよいまちランキングも下がってきている。計画が画餅にならないようにする必要がある。	・太田駅周辺は都市拠点であり、全市で1つのサービス施設（例：大型店舗等商業施設）を誘導し、将来的に人口が減少してもにぎわいが維持できるように努力を重ねていく必要があると考えている。	
	・合併してから65年が経過しているにも関わらず、未だに旧町村8地区の境界線にとらわれているように思えるが、どう考えているのか。	・合併の経緯は尊重しているが、それを前提に計画しているわけではない。全体構想は都市全体を一体的に、地域別構想はより地域住民の皆さんに密接した内容を描くものであり、その際に皆さんが身近に感じることができる範囲で作成している。それが結果的に旧町村のまとまりになったということである。	
	・太田町交差点の渋滞対策が記載されているが、木沢記念病院が移転するとさらに悪化すると思う。どのように考えているのか。	・中部国際医療センターについては、複数の出入口を設けて交通を分散すると聞いている。信号の時間調整や国道との接続など国・県・関係市町とのワーキンググループ検討会を始めたところであり、対策を進めていきたい。	
	・山手線と国道41号の交差点は4車線にしないとダメではないか。また国道41号バイパスの高架化を検討してはどうか。	・立体交差は太田町交差点で検討していくことになると思う。国主催のワークショップのなかでメリット、デメリットを検討していく。	
	・ネットワークは、市内の結びつきも重要だが市外との結びつきも考えるべきではないか。（名古屋市、可児市など）	・現段階ではあい愛バスによるネットワークを重視している。可児川線で可児市に乗り入れをしており、中型バスに更新した。今後、乗客を増やしていくことで、周辺市町とも一緒に考えていけるようになると思う。	
	・太田や古井は土地がもう無いのだから、加茂野や蜂屋など土地のある所で若い人を入れて活気あるまちをつくれれば良い。太田や古井は年寄りが住めば良いのではないか。	・世代ごとの住み分けの考え方もあるかもしれない。しかし、20年、40年経てば同じことが起きる。太田も加茂野もあらゆる世代が交流し、助け合って便利で快適に暮らすことができるようなまちづくりを支援していきたい。	
古井	・発達総合支援センターの整備の必要性はどこで検討されたのか。	・この事業は検討段階であり本決まりではない。古井第1保育園の跡地にまとまった土地ができることから候補地として挙げており、引き続き検討していく。	
	・災害リスクの低減策が図られていることから浸水区域も居住誘導区域に含んでいるとのことだが、具体的にどのような対策が行われているのか。	・ハード面では堤防の整備をはじめ新丸山ダムの工事などの対策がある。ソフト面では緊急避難体制の強化、情報提供、防災訓練の実施などが挙げられる。	
	・美濃川合駅の乗降客数も多いと思うが、なぜ都市機能誘導区域に入っていないのか。都市機能誘導区域に入っていない美濃川合駅周辺は整備がされないのか。	・古井駅周辺は人口密度がある程度高いことや商店街があること、3高校が立地し、文教交流拠点としていきたいという考え方から都市機能誘導区域にしている。一方、美濃川合駅周辺は住居系の区域だと考えており、居住誘導区域に設定し、国の補助を受けることが可能であり必要な整備を行っていく。	
	・重点戦略3の対象エリアは加茂野地区になっている。面積のバランスを考えると古井駅周辺に美濃川合駅周辺を足しても変わらないのではないか。	・加茂野地区は人口動向や開発動向等を考慮して都市計画マスタープランにおいて地域生活拠点に位置づけている。一方、古井駅周辺は立地適正化計画における重点的なエリアとして都市機能誘導区域に設定しており、位置づけの考え方が違う。	

地 区	質 問	回 答	その他意見 (要望事項や都市 MP・立適以外の意見など)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそもどうして立地適正化計画が必要なのか。</li> <li>・個人的にはこの地区に住んでいる人はそんなに困っていないと思う。それにも関わらず計画をつくり 2040 年までにどうしようとしたいのか。</li> <li>・将来は、古井駅、美濃川合駅は存続しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地が拡大していく中で人口減少が進むと、大規模商業施設や病院など生活施設が撤退することが懸念される。ある程度コンパクトなエリアに都市機能を誘導し必要な市民サービスを維持しつつ、バス等のネットワークで居住地と結ぶことで市民がサービスを楽しむことが持続できるまちにしていきたい。</li> <li>・人口減少、特に生産労働人口の減少、少子高齢化を見据え、財政面からも市民サービスを損なうことのないよう暮らしやすいまちづくりの実現を目指しており、この計画に挙げている内容を優先的に整備、検討をしていく将来プランである。</li> <li>・鉄道駅は簡単には無くなることはないし、いずれマイカーに依存した生活は維持できなくなる。高山本線も太多線も長良川鉄道も維持していく必要がある。</li> </ul>	
山之上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の工業団地の計画について情報提供をお願いしたい。</li> <li>・「持続可能な農業を支えるまち」が目標に掲げられているが、荒廃地（田畑、果樹園等）が増えている。対策についてどう考えているか。</li> <li>・JR 高山本線の複線化についてはどのように考えているか。</li> <li>・美濃太田駅から古井駅への便数が少ない。</li> <li>・「ぎふ清流里山公園」周辺を軸としたインバウンド交流について、外国人のアクセスをどのように考えているか。</li> <li>・空家バンクの登録数など状況を教えてほしい。</li> <li>・外国人が増えているからという訳ではないが防犯対策が心配。</li> <li>・地域内の小学校の児童数が減っているのは、土地利用規制により住宅の建築が制限されていることが原因の 1 つではないか。</li> <li>・歩いて暮らせる便利なまちとはどのようなイメージか。</li> <li>・あい愛バスを通学、下校時にあわせて運行することはできないか。</li> <li>・下米田がサテライト地区扱いになっていることに違和感がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美濃加茂 IC 付近で計画を予定しているが固まってははいない。東海環状自動車道の整備に伴い本市におけるニーズが高まっているため取り組んでいきたい。</li> <li>・農地法や農振法などの規制と社会的ニーズの現状に差があり状況の精査が必要。優良農地は守っていく。また鳥獣害対策についても考えていく必要がある。</li> <li>・沿線住民の積年の思いであり、引き続き沿線自治体と協力して JR に要望していく。</li> <li>・美濃太田駅は中濃エリアの拠点であり、引き続き JR に要望していく。</li> <li>・未だ模索段階であるが、観光事業者と連携しながら観光バスを走らせるか、もしくはあい愛バスのルートの見直し等を検討していく。</li> <li>・登録数は現在 16 件。物件が少ないこと、地域とのコーディネート役が不足していることが大きな課題と認識している。</li> <li>・外国人との共生は重要。一時期減少したが近年は増加している。外国人の子ども向けに日本語の特別授業を実施している。そういった取組を通じて外国人との共生に努めていく。</li> <li>・優良農地は保全するというスタンスであるため、住宅開発で農政部局との調整が難しい。国の農業施策の動きもみながら本市にあった形を考えていきたい。</li> <li>・山之上だけで全てのサービスを提供するのは不可能であり、太田等のまちなかに容易に公共交通で移動し、まちなかを歩いて周遊し生活利便施設を利用させていただくというイメージである。</li> <li>・増便となりコスト面の問題など難しいが今後の課題として担当課へ伝達する。</li> <li>・下米田は、用途地域が指定されていない農振地域であり、人口減少が予測されている。今後、支所機能を強化し生活利便施設を維持していく地域に位置付けている。そういった視点からサテライトという位置づけにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道や県道沿いに危険木が増えており、民地であっても行政で対応してもらいたい。</li> <li>・まちづくりは自治会がしっかりしていないとダメ。市はもっと自治会強化を働きかけるべきである。</li> </ul>
蜂屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの柱が 8 点あるが、その説明はどこに書いているのか。</li> <li>・市で工場の誘致を行うのか。</li> <li>・ぎふ清流里山公園に建設中のホテルは外国人向けなのか。本市に外国人向けの観光地はあるのか。</li> <li>・産業拠点ができると国道 418 号の交通量が増加する。小学校の通学路の安全対策をお願いしたい。</li> <li>・先のワークショップでは市のやること、市民のやること、協力してやることを話し合ったが、この計画でもそのような方向で検討したのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布している概要版には見出しのみだが、本編には記載している（簡潔に内容を紹介）。パブリックコメントを実施中であり詳細は本編をご覧ください。</li> <li>・既存の工場団地は完売しているが民間からの問い合わせはある。まずは民間市場調査でニーズ調査から始めている。インターチェンジ南側のエリアの特定用途制限地域については規制緩和の手続き中であり、4 月から緩和する予定。</li> <li>・主に外国人客（インバウンド）をターゲットとしているが誰でも宿泊可能。県と市で協力して里山公園や市内の観光地を巡るルートなどを検討中である。</li> <li>・通学路を優先的に歩道や交差点のガードパイプの設置、信号の無い横断歩道対策など県に要望し整備を進めていく。</li> <li>・ワークショップでの意見も踏まえて作成している。概要版では記載しきれないが、本編の地域別構想編をご覧ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の避難時にどこへ避難すべきか分かりにくい。</li> <li>・避難所対策がどうなっているのか周知して欲しい。</li> </ul>
加茂野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂野は立地適正化の居住誘導区域の区域外となっている。今後、どういったことを加茂野で取り組む予定なのか。</li> <li>・美濃太田駅より南側の地域は、木曾川の浸水想定区域となっているが、何故、居住誘導区域にしているのか。</li> <li>・本日の説明を踏まえて出された意見はどのように活用されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木野村中線やスカイロード 2 号線の整備をはじめ、地域生活拠点にふさわしい人口密度や生活利便機能の維持を図りつつ、周辺の田園都市ゾーンについては農地との住み分けをしながら居住していくエリアとしての検討を進めていく。</li> <li>・美濃太田駅より南側は人口密度が高く歴史的にみても大切なエリアである。堤防が整備され新丸山ダムの整備も進められている。今後、災害リスクは低減する見込みであり、緊急時の避難体制の強化などソフト対策も講じていることから居住誘導区域に入れている。</li> <li>・現在、パブコメ中であり、12 月 24 日まで誰でも意見を出していただくことが可能である。いただいた意見の内容によっては適宜、計画書に反映していくこととなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT を活用した支所機能の充実、強化は早急に進めてほしい。</li> <li>・加茂野地域交流センターは加茂野の住民が優先的に利用できない運営となっており市主体行事が優先となっているが、この状況を変えたい。イベント時に駐車場が不足する問題への対応も課題である。</li> </ul>

地 区	質 問	回 答	その他意見 (要望事項や都市 MP・立適以外の意見など)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年後の加茂野をどういうまちにしたいと考えているのか。開発をしていきたいのか、田園風景を保全していきたいのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ずっと住み続けられるまち」を目指しており、地域に根差したサービスを強化するという方向性である。開発と農地の保全についても、田園風景の優良農地は保全し、生活拠点エリアは住宅開発を開発条例に基づき進める。農政部局、都市計画部局で調整しつつ住みよい環境をつくっていききたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家バンクの活用とは具体的にどのようなものか教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家を借りたい人と貸したい人をマッチングするシステムである。市は仲介までを行い、実際の契約事務は不動産会社を通して行う。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の充実とあるが、あい愛バスの車両数やスタッフ数の現状、今後の見込み等を教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あい愛バスの「あまちの森線」は1日8便運行、平均乗客人数は1便あたり平均4～5人である。スタッフ数は委託業務であり把握していない。運行本数の充実、路線の見直し等も検討しながら、今後は概ね10万人の利用を目標としている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂野地域らしい田園都市環境の保全とは具体的にどういことを進めていくのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集团的にまとまりのある農地や宅地に点在する農地等があるが、守るべき農地と開発を許容する農地を区分するなど、住民の意見を聞きながら検討していきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民主体のまちづくり活動の推進とあるが、具体的にどう取り組んでいいか分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民主体のまちづくり活動は盛んに行われている。他の地域でも加茂野まちづくり協議会の活動を参考している。担当課で活動への助言や支援をしていく。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蜂屋川の氾濫の可能性はないのか。治水対策は行われているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氾濫の危険性はある。現在、市で進めている治水対策は蜂屋川の流れ込む雨水渠の整備を進めている。流量はできるだけ増やす整備をしており、水を溜めるよりも流す方向で取組を進めている。</li> </ul>	
伊深	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市におけるコンパクトシティとは、太田や古井に重点的に投資して様々な施設や機能を整えていくという理解で良いのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の場所に集中して住んでほしいという趣旨ではなく、郊外での人口増加を抑えながらゆっくりと街なかへの居住を誘導するということである。その際、郊外に住んでいる方々も公共交通を利用して街なかの施設を利用できるよう環境を整えていくという考え方である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市全体でやっていることを伊深にあてはめても上手くいくとは限らない。消滅集落に対するプランが必要である。</li> <li>・増税により飲食料品は8%据え置きだが紙オムツは10%になった。子育てしやすい環境を整えるという点では紙オムツも上げるべきではない。国の考え方がさっぱり分からない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美濃太田駅は高山方面に行くには重要な駅だが、名古屋方面に行くにはJRより名鉄の方が便利。ターミナル駅としては弱い印象がある。</li> <li>・市として空家対策をどう考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市は鉄道の結節点であり、これまでどおりJRにダイヤ改善など整備促進を要望する取組を行っている。</li> <li>・非常に重要な問題だと認識している。現在、空家バンクの取組もしているが登録件数が少ないという問題もある。登録件数の増加とそこに至る地域とのつなぎ役（コーディネーター）の存在が重要だと思う。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードエリアでは家が建替えられないと聞いた。どうすれば良いのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）では新たな建替えができない。市としてはそういう住宅に対する補強助成（最大300万）を行っている。利用者が増え市民の声が高まれば上限額が上がる可能性もある。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性や子育ての立場からみると街なかより伊深や山之上の方が暮らしやすいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全性や子育てしやすさを考えて伊深に移住する人もいる。そういった個々の地域の魅力を活かしたまちづくりを進めていきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あい愛バスに観光バスの機能を持たせると良いのではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、「みのかも健康の森」「ぎふ清流里山公園」「リバーポートパーク美濃加茂」の3公園をつなぐ試験運行や夜間便運行を実施している。利用状況をみながら今後の運行のあり方を検討したい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単に産業用地を確保するのではなく、定年制を廃止して高齢者でも働き続ける企業など地域貢献の取組を頑張っている企業を優先して誘致するといった取組も検討すれば良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海環状自動車道の整備に伴い、進出意向を示す企業が増えている。そういったニーズに対応するため産業用地の確保に向けた検討を行っている。重要なお意見重要だと思うので、担当課へ伝達させていただく。</li> </ul>	
三和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は人口減少が著しく20年後まで持続できるか心配。今回の計画でどのように考えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三和は市内で一番人口が減少する予測である。そのため、例えば三和連絡所でICTを活用して行政サービスを受けやすくする、公共交通を強化し、病院等の施設にアクセスしやすくする環境を整えていく等の取組を進めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路に木がはみ出してきており、高い場所なので地主が対応できない。市の補助、支援などはないのか。</li> <li>・納古山はいい資源であり、観光の観点から山道整備の補助はできないか。</li> <li>・リバーポートパーク美濃加茂は、5次総合計画に基づくものではなく結果として整備されたもの。もう少し長いスパンで物事を考える必要がある。</li> <li>・JAのATMがなくなると地域に金融機関がなくなる。撤退しないように行政から言うことはできないのか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あい愛バスの路線変更はあり得るのか。路線の見直しはこの計画に組み込まれるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本数の増加や、3つの拠点をまわられるように路線を再編することも検討している。路線の変更については、公共交通の計画の方で随時見直しをしている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少の一番の理由は働く場がないこと。工業団地をもっとつくっていくことが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業からも「企業進出の候補地がないか」と打診がある。働く場の確保にむけて取り組んでいきたいと考えている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりの健康軸を御殿山のキャンプ場までのばすことはできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原案では設定していない。今後の取組を踏まえて検討したい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市機能誘導区域のエリアはハザードマップで浸水の危険があるエリアとなっているがこれで良いのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該エリアは他と比べても人口密度が高いエリアである。新丸山ダムの整備などハード面での取組のほか、緊急避難対策などソフト面の取組も進めながら、危険性のある地域でも住み続けられるように取組を進めていく。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古井駅の南側が都市機能誘導区域になっており住宅がある程度建っている。駅北側の方が使える土地があるのではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古井は駅南側に発展会があり頑張っている。北側は用途地域が指定されておらず、無秩序な開発が進む懸念がある。このままでは市街地がスポンジ化してしまう恐れがあり住民と一緒に検討していきたい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチフレーズに「住んでみたい、住み続けたい」とあるが土砂災害特別警戒区域の指定状況を踏まえると難しい。住宅の改修等の補助が一</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害特別警戒区域の指定は国の方針であり外すことができない。市としては現状300万の改修費補助を出しており県下では初の取組である。いただいたご意</li> </ul>		

地 区	質 問	回 答	その他意見 (要望事項や都市 MP・立適以外の意見など)
下米田	<p>部出ると聞いているが全額補助は難しいのか。</p> <p>・美濃太田駅周辺は昔からいろいろな取組がされており、これ以上お金をかけて意味があるのか。古井駅周辺も通過するだけであり拠点となるのだろうか。</p>	<p>見も今後の検討材料として、住み続けられるまちづくりを進めていきたい。</p> <p>・美濃太田駅や古井駅周辺は人口が密集しており、商店街や公共施設も集積している。今ある機能を維持し、上手く活用していくことが大事だと考えており、それら施設を利用しやすくする環境を整えていく取組を進めていこうとしている。</p>	